



昨年末は突然の〇〇ノミクス解散とやらでバタつきました。選挙の投票率は戦後で最低だったようです。政策が失敗しても国民へ責任をなすりつけているようにみえました。

第3期〇〇内閣はデフレ脱却、経済成長のために何を実行するのでしょうか？ せめて①議員数の削減くらいしていただき、②ガンバル奥様方の扶養控除額を引き上げ、ご家庭所得増にて豊かさを享受、③高学歴高所得外国人の入国を緩和をしても、外国人の不動産取得税の割増を検討できないものか。他国に比較して不動産登記へのハードルが低すぎるのです。このまま無策に円安をけん引し続けると不動産は買いあられれます。

さて当院は9年目を迎えました。今後もしっかりと皆さまの健康を支援してまいります。

歯頸部う蝕



歯頸部とは歯ぐきと歯の境目のことです

虫歯の好発部位の1つで、子供さんから高齢者の方までブラッシングが不得意な方に多く見られます。歯を被せて治療したり、歯頸部を詰めて治療すれば二度とむし歯にならないと勘違いしている方も少なくありません。なおしてもリスクはむしろ上がるのです。

さて、年齢を重ねると歯肉は痩せて退縮します。そして黄色味かかった根の表面も露出してきます。この部分が虫歯になると根面う蝕といえます。

また、間違ったブラッシングで歯肉を傷つけてしまい歯の根元がくびれ、冷たいものがシミてしまうこともあります。くいしばりや歯ぎしりで凹んでしまう場合もあります

歯の表面はエナメル質と呼ばれる硬く虫歯になりにくい組織で覆われているのですが、歯肉が退縮すると、今までは歯肉に覆われ露出していなかった部分が出てきます。その部分はセメント質といい、エナメル質よりも柔らかい組織なのです。歯肉が退縮し、露出したセメント質部分にできる虫歯を根面う蝕と呼び高齢者に多いのです。

高齢者はブラッシングがおろそかになりがちで、かつ、唾液の分泌量が少なくなります。唾液には虫歯を防ぐ力があるのですが、糖尿病やシェーグレン症候群などの影響や、さまざまな薬の副作用で唾液が出にくくなり、虫歯に対する抵抗力が減少してしまいます。唾液の分泌は噛むことで促されるので、食事がうまく摂取できない要介護者の場合は、唾液の減る傾向が更に強くなってしまいます。また、歯肉の退縮によって歯と歯の間に隙間もできます。そこに磨き残しが長期に停滞すると根面う蝕になりやすくなってしまいます。適度に水で潤したり、保湿剤や人工唾液を使い、口腔乾燥を防ぐと良いでしょう。

高齢で不安な方には定期的に口腔ケアのために隔月通院される方もいらっしゃいます。子供さんも季節ごとにフッ素塗布や定期的なメンテナンスで予防して、早期発見、早めの治療もしていきましょう！！

血液サラサラのクスリ (黒川)



次の病気に共通しているのは何でしょうか？

心筋梗塞、脳梗塞、深部静脈血栓症、肺塞栓症

答え…病気の起きた場所は違っていますが共通しているのは血の塊である「血栓」ができ、それが血管を詰まらせている事です。

歯科の治療にも影響があることなので今回取り上げてみました。

超高齢化が進行する中、脳梗塞や心筋梗塞に代表される血栓性疾患が増えてきています。

そのような方は、血管を詰まらせないようにするために血液をサラサラにする薬を内服しています。

血液サラサラにする薬には抗血小板薬や抗凝固薬があり、現在日本では抗凝固薬を内服している人は100万人、抗血小板薬は300万人に上ると言われているそうです。

血栓症の発生に、動脈では血小板が、静脈などで血液が滞るために起こる血栓症では、凝固因子の働きが重要です。

以前は、血液さらさらのクスリを服用している患者さんの抜歯を含む外科的処置には、休薬した後に行う歯科医院が多かったですが、現在は適切な局所止血処置を行えば休薬が不要ということがわかってきました。それは休薬による血栓塞栓症の再発頻度は低いが、休薬したことで血栓症の症状が重篤になる事明らかになってきたからです。

日本循環器学会のガイドラインでも「抜歯時でも抗血栓薬の継続が望ましい」と明記されています。

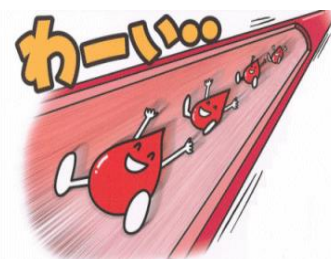
<抗血小板薬>血小板の粘着、凝集作用を阻害する作用

狭心症・心筋梗塞・脳梗塞など動脈で起こる血栓症

バイアスピリン

クロピドグレル

チクロピジン



<抗凝固薬>ビタミンKに拮抗するなど、血液凝固因子成分の合成を抑制する

人工弁置換術後、心房細動、深部静脈血栓症、肺梗塞など血流の乱れや鬱滞による血栓症

ヘパリン

ワーファリン

心房細動による血栓症を予防するために今まではワーファリンを使用していましたが、プラザキサに変える患者さんが増えてきています。プラザキサは日本で約50年ぶりに承認された経口抗凝固薬で、血液が凝固する過程の最終段階で働くトロンビン（タンパク質分解酵素）の活性を特異的に阻害する新しい作用機序の薬剤です。また、食事の影響を受けにくく使いやすいともいわれています

ワーファリンは食事制限（納豆、クロレラ、青汁、モロヘイヤ禁止）があったり、定期的にPT-INR（プロトロンビンが血液凝固に至るまでの時間を測る検査）を測定したりしなければなりません。